

職業リハビリテーション学会通信

NO.165 2021年 3月発行

学会大会

日本職業リハビリテーション学会 第48回愛知大会はオンラインで開催 します！

<愛知大会について>

すでに開催要項でご案内させていただいていますが、日本職業リハビリテーション学会第48回愛知大会は、正式にオンラインで開催することになりました。本来であれば、会員の皆様に愛知へお越しいただき、大会をリアルに感じていただきたいと考えていましたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の先行きが見えない状況下、今回このような決断をさせていただきました。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

オンラインということが決まってからは、実行委員会の中でオンラインの利点を活かした大会にしたいと考え、議論を進めてきています。これまでの大会では、数多くの企画がありながら、同時に参加できずに残念だったとの声も数多く聞かれていたことから、オンデマンド配信やホームページ掲載にすることで、多くの「ワークショップ」や「研究・実践発表」に参加できるようにしていきたいと考えています。また、懇親会にかわり、テレワークでも使用されているSOCOCOというソフトを活用してオンライン交流会も企画する予定です。実行委員一同、皆様のご参加をお待ちしております。

<愛知大会プレ企画の報告>

令和3年2月26日（金）に愛知大会プレ企画をオンラインで開催しました。第1部では株式会社テレワークマネジメントの倉持利恵氏をお招きし、テレワークの実態について実際に働いている方にも登場いただき、ご講演いただきました。第2部では、愛知労働局の松下昇氏には、政府の重要政策である「働き方改革」について、歯に衣着せぬ物言いで語っていただきました。そして、最後に東海地域の様々な分野の専門家を交え、意見交換をしました。時間の関係で十分に意見交換できなかったところもありますが、参加された皆様にとって何らかの考える契機になったのではないかと考えております。

当日は、70名の参加があり、アンケートでは、「実際に就労している方のリアルな話も聞けて、テレワークの実際が分かりやすかったです。」「働き方改革と障害者の就労について、基本的な考える視点がわかりやすかったです。」「様々な機関の方の意見を聞けて為になりました。」といったご意見が聞かれ、概ね好評な結果でした。

企画側としては、オンライン開催にまだまだ慣れておらず、反省点もたくさん見つかりました。本大会に向けては、この反省を生かして取り組んでいきたいと考えています。

（文責 稲葉健太郎）